

# 謹賀新年

令和三年辛丑



# 轉法輪

一塵大嶽を崇くし、  
一滴広海を深くす

弘法大師

令和三年元旦発行  
 発行所 大飼山轉法輪寺  
 〒六三七一〇〇七一  
 奈良県五條市大飼町一二四  
 電話〇七四七二二一四四〇三  
 FAX〇七四七二二一四七二七  
 編集発行人 桑山聖淳  
 印刷所 森本印刷工業所  
 和・伊都郡かつらぎ町妙寺

## 謹んで新春を

### お慶びを申し上げます

皆さまには、お健やかに新春を迎えられたことと存じます。旧年中は流行病に戸惑い、参拝のご迷惑をお掛けしたことお詫び申し上げます。それでも、一つの法要も欠かすことなく勤められたのは皆さまのご支援あつてのことです。深く感謝申し上げます。

しばらくは辛抱の日々が続くと思いますが、仏さまが見守つてくださる中、共にながらばつてまいりましょう。

### 初詣にお参り下さい

十二月三十一日(木)

年越し護摩供

一月一日(金)・二日(土)

破魔矢授与

一月三日(日)九時半より

新春護摩法会

お鏡もち接待

本年は新型コロナウイルス感染症対策のため、甘酒・ぜんざいの接待は行いません。また、感染状況を鑑みて、諸予定に変更がある場合があります。詳細はHPまたはお電話にてお問い合わせください。

大飼山轉法輪寺

住職 桑山慈紹

お大師さまの言葉 チリも積もれば山となるように、少しずつの努力が大きな結果に繋がります。大功は日々の精進から。より良い世界は、皆が力を持ち寄ることから。

# 方位の吉凶

令和三年度 辛丑年 かめとし

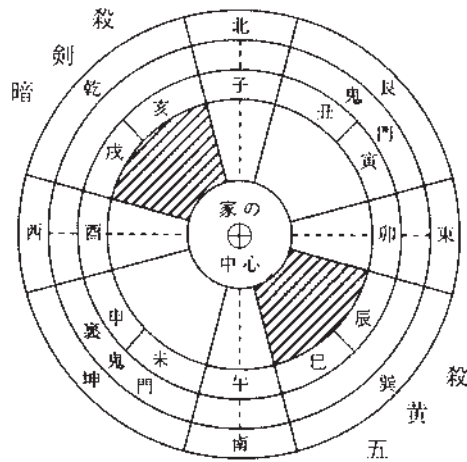
住職 桑山慈紹

## 新年あけまして

おめでとうございます。

今年も方位の吉凶のお話をさせていただきます。本年辛丑は、六白金星の年となっております。よって、本宅中心より北西（戌亥六十度）に暗剣殺・東南（辰巳六十度）に五黄殺がめぐり、老若男女を問わず、大凶方

家相方位盤



位となっております。

特に向一ヶ年ご注意ください。

## 暗剣殺とは何か？

暗剣殺とは、読んで字の如く、暗闇から剣が飛び出して来て殺すと書き、ビックリする様な災難が、外から急に深く鋭く激しくふりかかる方崇りを云います。

よって今年、北西方位に普請、新築、増改築、転宅、就職、進学、結婚、開店、出産、契約等々、何か事を起すに、どなた様にとつても大凶であります。

## 五黄殺とは何か？

一方辰巳（東南）の方位の五黄殺とは、強烈な土に戻す作用を引き起す方崇りを云います。

普段一般に、土には野菜など物を育てる力と、土に戻す即ち腐敗させる力があります。この五黄殺とは、この後者の方崇りを強烈にシブトく、深く、激しくうけるもので、三年目、六年目、九年目と三年ごとに

方崇り向う五十年も受ける、誠に恐ろしいものであります。

また、その作用の表れ方も、先述の暗剣殺とは対照的に、ゆっくりと忘れて頃にやつて来ます。

よって本年、この辰巳（東南六十度）方位に建築、改築、転宅、契約、進学、就職、結婚、開店、長期旅行等々どなた様も大凶となります。殊に厄年や、七赤金星、五黄土星の人には、大々凶となります。

## 歳破神

今年は丑年です。よってその反対側の未（南々西三十度）に歳破神が巡り、凶方となります。

この方位に、普請、移転、旅行、縁組等求めるは凶といわれています。

## 本命殺・本命的殺

自分の生まれ年の星が位置する方位と、その反対側の方位も凶方位です。人により異なる方位ですので、詳細は開運暦をご参照ください。

家相・方位の相談をお受けいたします。新築・リフォーム・転宅の際はご相談ください。

## ことばのちから

住職 桑山 慈 紹



耳が遠くなつた名誉住職のために、ひとつ機械を借りて使い始めました。音声を認識して、文字を表示するタブレットです。それまではメモ帳や、ホワイトボードなどに書いて見せていたので、やりとりがずいぶんスムーズになるだろうと期待をしてい

ました。

しかしながら、話し口調が五條弁なもので、機械のほうも判断が難しいのか、「本堂」というのを「本土」、「第一志望」を「体脂肪」と、やりとりがちぐはぐになることもしばしば。機械が読み取れるように、正しい日本語で、かつぜつよく、はっきりと発音する：スムーズどころか、かえってストレスを感じてしまったり。

私たちは普段なにげなく会話をしていますが、「なにげない」というのは高度なAIでも判断できない複雑なもので、機械ほど賢くない(?)人間同士で食い違いや勘違いが起きるのも当たり前だなぁと思います。

十善戒でも、口に関して、不妄語・不綺語・不悪口・不両舌と、四つも戒めがありますね。それだけ、言葉のやりとりに気を付けなければ、誤解やいさかかが生まれやすいのでしよう。

地獄の「獄」はケモノとイヌの間に言を挟みます。犬猿の仲というように、お互いに争いが絶えないのは、言葉が通じないからだといえます。

我々人間の世界ではどうでしょうか。言葉が通じていても、投げかけられた言葉の奥にある意味を考えなかつたり、相手に正しく伝わっていないのかを振り返らなかつたりと、やりとりがずさんになってしまつたり、人の仲もちぐはぐになり、いずれは地獄のようになってしまつたりかもしれません。

毎日悩み相談で来られる人の大半は、口で罪を作つたり、口で傷つけられたりと、言葉は大変むずかしいものと日々実感しています。どうぞ犬と猿の仲になるのではなく、仏と仏の間柄になるようお互い気をつけたいものです。



水児の個人供養を受け付けています。毎日9時、11時、14時、16時からお勤めを致します。



# 生かせいのおち

## 【第六十六話】

名誉住職 桑山聖規



教堂が建立されて四十年になりました。護摩堂が昭和三十九年に建ち、いよいよ大師信仰を広めるためには、信者さんが一堂に会して拝める場所の必要性を強く感じるようになりました。

信者さんの熱い思いは写経運動として花咲き、二十一日の大師会、二十八日の護摩の日、三巻、五巻と持ち寄ってくれました。

当時一千巻の目標を決め、住職である私も副住職も、朝早く起きて勤行の前に写経をし、先住職さまの墓参りも欠かしませんでした。そのおかげもあり、昭和五十五年には念願の教堂建立となりました。

去年は、空海さまが「弘法大師」という大師号を時の天皇からいただいたから、千百年という記念の年でした。

私もその報恩のために「南無大師遍照金剛」の御宝号写経をしました。目標に向かってお写経を一心にするところ、必ずおかげがいただけたものと信じます。

お大師様に生かされて九十七年、私もお大師様の御弟子として、余命を全うする覚悟です。みなさまもどうか、拝みあい助け合って、尊い生命をよりよく生かしてください。

# 私たちが運ぶもの

副住職 桑山聖淳

年の暮れ、何気なく点けていたテレビが目にとまった。

「京都出町・餃子の王将、閉店。」  
全国にたくさんある店舗の中の、一つが閉まる。たったそれだけのことだが、全国放送のニュースに取り上げられるのは、私を含め、少なからずショックを受ける人がいるのだろう。

へめし代のない学生 お腹いっぱい夕ダで食べさせてあげます ただし食後三十分皿洗いしてね

私が学生時代、毎日のように通った道のすぐそばで、その貼り紙も景色の一部のように馴染んでいた。

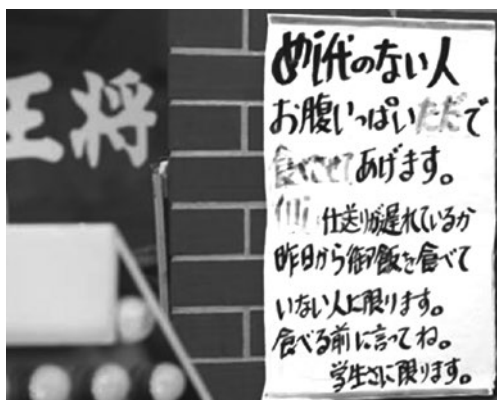
「世話焼きの親父さんが居てるんやなく」  
当時はそのくらいにしか思わなかったし、(有難いことに)へめし代に困ることは無かったため、皿洗いはせずに済んだ。

毎月21日は月並御影供(9時半～)・28日は不動尊護摩供(9時～)です。  
どなたでもお気軽にご参拝くださいませ。入退出自由、昼食お接待です。



テレビの画面越しに、久々に見た貼り紙。今更になつて、どういう考えてこんなことをしていたんだろうと、食い入つて見つめた。

「自分も若い頃、食べるものに困り、たくさんの人に助けられた。今は助けられる立場になつた。親切を受けた人が、これから先に困った人に手を差し伸べることをしてくられたら、僕のやつていることは報われる。それを繰り返すと、人助けは順繰りになる（先につながらっていく）と思う。」



インタビュアーに答える店主をみて、恥ずかしくなつた。貼り紙が伝えてきた想いを、何も受け取らずにいた自分に。

ニユースには、閉店を聞きつけた「元・苦学生」のオジサンたちが、定年を迎える店主をねぎらいに集まっていた。

道は自おのずから弘ひろまらず 弘ひろむること 必ず人による 弘法大師

「教え」は、それ単体で引き継がれるわけではない。人の言葉や思い、行動が伴つて、人から人へと伝えられていく。経本だつて、机に置いてあるだけでは役に立たない。

それは真言宗の「教え」だけではなく、誰もが祖父母や両親、師匠、親友など…様々な関わりの中で受け取つたところを持つていると思う。

みな、日々の暮らしの中で、精いつばい走つていよう。多くの車が行き交う中を、周りどぶつからず、誰かを傷つけず、しっかりと前を見て行くように。トランクに何を積ん

でいるのか、振り返る余裕は多くない。

それでも、私たちの命は、今も誰かの想いを載せて走っている。いつかは止まるこの暮らしに意味を見出すなら、自分が載せているものに気づき、それを誰かに渡していくことなのかもしれない。

閉店した王将の後日談だが、店主はまた、新しいお店を出したいという。

「自分は、貧乏学生を相手するんが好きなんやろなあ」

## 母 心

坂田笑津子

母の愛は海より深いと言う。その通りだと言う。私は仕事柄、宅急便の中に、さまざまな母親の愛を見る。運賃を考えれば、随分と高い値になる品物が、せつせと送られる。米や野菜。スポーツドリンクにラーメン、

菓子まで。とりわけ、一人暮らしの息子への荷物には「もつと入れたい！」という母心があふれていて、微笑ましくなる。

こんなことがあった。初老の女性が、大事そうに段ボール箱を持ってきた。送り状を書き終わると、控え目に、だが強い口調で彼女は言った。「絶対に横にしないで下さい」手作りの総菜が入っているのだという。送り主は、あおぞらハイツ102号。学生の息子にでも送るのだろうか、軽い気持ちで話しかけた。返ってきた言葉に私は胸をつかれた。

「台所を使わせてもらうわね」

女性は次男家族と暮らしているという。長男はまだ独身。コンビ二弁当ばかりのその子に手作りのおかずを食べさせてやりたい。しかし厄介になっていく身を考えれば、台所を使うのが気がねだというのである。決して不仲ではない様子だったが、材料は勿論、調味料まで別に揃えて、遠慮しながら台所に立つ姿を想像す

ると切なかつた。

子を想う心。子に遠慮する心。母心とは、かくまで温かく、哀しいものなのかと胸に沁みた。

〈寺嫁日記〉

## あした天気になあれ

その九

小松裕衣

いろいろあった二〇二〇年でしたが、我が家の十大ニュースの一つに数えられるのが、小学三年生の次男、照典が「NHKラジオ子ども科学電話相談」に出演したことです。

普段から、何気ないことでも「なぜ？どうして？」と疑問をすぐ口にする照典。今回の質問は、

「日本に四季があるのはどうしてなの？それは南半球でも同じなの？」

子どもにも分かるように説明するのは難しい…これは思い切って本物の

の先生に相談してみよう！ということになり、昔から親しまれているラジオ番組に応募しました。

東京から採用の電話がかかった時は、質問をする本人よりも家族の方が大喜び。家族みんなでドキドキしながら出番を待ちました。

本番での先生の説明はかなり専門的で、小学生が全てを理解するのは難しかったかもしれませんが。それでも自分の問いに対して、プロの方が真剣に向き合い答えて下さったことは、貴重な体験となったようでした。

去年は子どもたちにとっても我慢の連続でした。学校の長期休校で勉強もできない、友達とも会えない、楽しみにしていた行事も中止…。こんな状況になって改めて、学校は子どもたちの大切な場所なのだということを感じました。

今年も長男、嵩典の小学校最後の年になります。一緒に過ごせる時間を大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていこうと思います。

ご詠歌をお唱えしたい方を募集しています。犬飼詠歌講では少人数で気遣いなくご詠歌を覚えられます。各地の巡拝でもお唱えできます。

(7) 輪 法 轉

新春の行事

初大師

一月二十一日(木)

十時より

大般若経六百卷転読法要

—七難即滅—

七福即生—



大般若經典の智慧の風をお受けください

初不動

一月二十八日(木)

九時より

十二座護摩供

—厄除開運—

善願成就の大祈禱—



護摩の炎で災厄を浄めます

星祭り

結願祭

二月三日(水)十時より

—厄除けのお札を

お渡しします—



星祭祈願受付中

一年間の厄除け開運のために  
ご祈禱をお申し込み下さい。

稲荷祭

鳴り護摩

法要

三月十三日(土)

九時より

家内安全

商売繁盛

五穀豊穰



稲荷様を招聘し、桶を鳴らします

お世話人さま募集! 檀家さんに限らず、信心を持って行事のお手伝いして  
もらえる方であれば大歓迎! お大師さまの教えの輪を広げましょう。





元盲導犬のレフくん

初詣

十二月三十一日(木)夜十二時より

百八灯明の点火

般若理趣三昧

初護摩供

一月二日(金)二日(土)

開運破魔矢

狩場明神御真影の授与



御鏡開き

一月三日(日)午前九時半より

法要

新春護摩法会

お鏡もちのお接待

チャリティーイベント開催

盲導犬・介助犬を引退した  
犬たちにご支援を！



梵鐘

京都清水寺、昨年の漢字は「密」。真言宗は密教ですから、良くない意味で世間に定着してしまい、寂しい思いです。

昨年の正月には、一年で世の中がこんなに変わるとは想像もできませんでした。毎朝仕事に出かけていたお父さんが家にいる。仲良くなるかと思いきや、ケンカが増える。買い物に出かければマスクを忘れ、あわてて取りに帰る。亡くなられた著名人をはじめ、悲しいニュースや、身近な人たちとの別れもありました。今こうして元気で新年を迎えられている幸せを胸に抱いて、おかげさま・おたがいさま・ありがとうを合言葉に、今日一日の歩みを進めましょう。